

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Jun 2013.6
No.1016

表紙 本別町町民植樹祭



第55回 本別山溪つつじ祭り



大勢の人が、春の野点を楽しみました



野田仁実行委員長



子どもに大人気！ふわふわランド



うなぎつかみ大会。
あまりの力に、
うなぎもぐったり



恒例のニジマス釣り。前日からの雨で、川が...



本別駒おどり演舞



とかち青空レディ



本別義経太鼓披露



長蛇の列ができた
ジャンボ義経鍋



本別町と地域間連携協定を結んだ白糠町も、特産品をPR



大勢の来場者



お笑い芸人ネコシツクスに場内大爆笑



大ビンゴ大会。1番乗りで
ホームベーカリーゲット

ジャンボ義経鍋

大鍋で600食を調理。具材
たっぷり、おいしい味に
仕上がりました



第55回 本別山溪つつじ祭り

第55回本別山溪つつじ祭り（実行委員会主催＝野田仁
実行委員長）が5月12日、本別公園で開催されました。
例年がない寒さによりサクラとツツジの開花が遅れた
ことに加え、前日までの雨で客入りが心配されました
が、当日は町内外から約5000人の花見客が来場。
場内では、600食を完売した名物「ジャンボ義経鍋」
や出店業者による「食のコーナー」のほか、「大ビン
ゴ大会」「お笑いライブステージ」など多彩なステー
ジイベントが展開され、来場者は「食べて」「飲んで」
「笑って」、春の楽しい1日を過ごしました。

皆様からのご厚意 大切に使用させていただきま



本別町農産物ものづくり館「ゲンキッチン」オープンを記念して開催された、料理研究家星澤幸子さんによる料理講習会

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例
平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）
の運用状況をお知らせします

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例は、個性や魅力にあふれ、全国に発信できる「ふるさとづくり」を進めるための事業等に活用するべく平成18年度に創設され、制度運用から今年で7年が経過しました。この間、趣旨や目的をご理解いただき、絶大なご支援を賜りました個人・団体の皆様に対し心からお礼を申し上げます。

平成24年度に寄付を頂いた口数は212口、総額106万円で、これまでの累計としては、口数は6539口、総額3269万5420円となっております。

平成24年度の運用実績といたしましては、子供たちが安全で安心して遊ぶことができるように、遊具の基準に合わなくなった本別生活館（柏木町）のブランコや滑り台の修繕・更新に100万円、森林整備による環境保全のため民有林造林促進事業に30万円、本別町農産物ものづくり館「ゲンキッチン」のオープン記念事業として開催された料理講習会に30万円の合計160万円の寄付金をそれぞれ活用させていただきました。

平成25年度につきましては、本のまち・夢プラン事業として、子供たちに「生きる」ということの素晴らしさを伝えるため、講師を招き「本のまち夢づくり講演会」を開催。この事業費として30万円の寄付金を活用させていただきます。

これからも、より良いまちづくりのために寄付金を有効に活用させていただきたいと考えておりますので「個性あるふるさとづくり」に多大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

分野別寄付数

平成24年度分（平成24年4月～平成25年3月）

寄付項目	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	73	365,000	34.4
農産物加工体験施設整備事業	51	255,000	24.1
自然との共存・環境保全推進事業	27	135,000	12.7
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	29	145,000	13.7
本のまち・夢プラン事業	32	160,000	15.1
合計	212	1,060,000	100.0

累計分（平成18年度～）

寄付項目	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	2,018	10,090,420	30.9
農産物加工体験施設整備事業	1,572	7,860,000	24.0
自然との共存・環境保全推進事業	1,390	6,950,000	21.3
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	650	3,250,000	9.9
本のまち・夢プラン事業	909	4,545,000	13.9
合計	6,539	32,695,420	100.0

地域別寄付者数

平成24年度分（平成24年4月～平成25年3月）

寄付者のお住まい	寄付者数(件)		地域別比率(%)
	うち団体	個人	
本別町内	6	2	46.1
道内他市町村	3	0	23.1
道外他市町村	4	1	30.8
合計	13	3	100.0

累計分（平成18年度～）

寄付者のお住まい	寄付者数(件)		地域別比率(%)
	うち団体	個人	
本別町内	79	13	54.9
道内他市町村	31	2	21.5
道外他市町村	34	3	23.6
合計	144	18	100.0

国民年金 コトナリ

第1号被保険者の 独自給付

その134

第1号被保険者（農林漁業、自営業などの人とその配偶者、学生、家事手伝いなどの人）には次の3つの独自給付があります。

その一 付加年金

月額400円の付加保険料を納めて、老齢基礎年金に上乗せして受け取れます。

★年金額（年額）

付加保険料納付月数×200円
※2年間で元が取れます

その二 寡婦年金

第1号被保険者として保険料を納めた期間（免除期間なども含む）が25年以上ある夫が死亡した場合、死亡時に10年以上婚姻関係にあった妻が60歳から65歳になるまでの間支給されます。

★年金額

夫が受けられたであろう老齢基礎年金額の4分の3

その三 死亡一時金

第1号被保険者として保険料を3年以上納めた人が、年金を受けずに亡くなった場合、生計を同じくしていた遺族に支給されます。ただし、遺族が遺族基礎年金を受けられない場合に限りです。

★年金額

保険料納付期間に応じて
12万円～32万円

※寡婦年金と死亡一時金は、支給要件がありますので、詳しくは帯広年金事務所または住民課戸籍年金担当へお問い合わせください

帯広年金事務所では こんなことを行っています

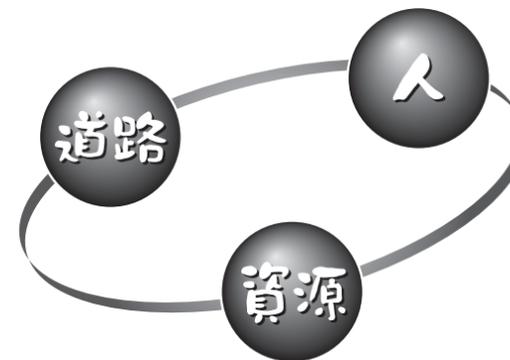
- 年金制度についてのご相談や質問の受け付け（受給や免除のご相談・加入記録の確認など）
- 保険料の納付
- 口座振替の申し込み手続き など

☎ 0155-125-8113



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ

☎ 0155-125-8113



つながる地域

本別町と白糠町は、さらなる地域活性化や安心安全のまちづくりを進めるため、本年3月に包括連携協定を締結しました。

本年度は、まちづくりなどの情報交換やイベントなどでの特産品の相互販売のほか、防災訓練の共同実施や災害時の相互支援体制構築に向けた協議を重ねます。

今号では、これから連携しさまざまな取り組みを進める白糠町の概要について紹介します。

生き生き しらぬか 笑顔輝く まちを目指して

白糠町では、第7次白糠町総合計画において、「1次産業の再興と振興」、「町民の健康づくり」、「教育」を3つの重要視点とし、共通するキーワードとなる「食と食材」を結び付けたまちづくりに取り組んでいます。山や海などの自然がもたらす「食と食材」を、まちの大きな

財産として、いきいきと生活できるまち、新鮮な地域資源を活かして町の活力を創造するまち、町の人の笑顔があふれ、小さくても輝きのある個性あるまちを目指し、将来へ向けたまちづくりを推進しています。

町名の由来

白糠という地名は、アイヌ語の「シラリ（磯）カ（上）」で、「波が磯をこえ、しぶきが立つ」様子を表しています。

町の歴史と アイヌ文化

白糠に戸長役場が設けられたのは明治17年。先住民族はアイヌで、歴史をたどると400年以上前の昔から、生活していた記録が残されています。白糠町ではアイヌ民族文化の継承に力を入れており、白糠アイヌ文化保存会の古式舞踊は国の重要無形文化財となっています。

南通り商店街 「ハミングロード」

白糠町の顔とも言われる「ハミングロード」は、昭和63年



「北海道まちづくり百選」の春・夏編50選に決定し、平成3年には全国初の「広告景観優良地区」に指定されました。

この商店街は、「サンフランシスコ・アベニュー」「ロンドン・アベニュー」「ボン・アベニュー」の3つのストリートに分かれ、洋風の建築物に統一された商店が建ち並んでいます。毎年9月、このストリートでは約70の露店が軒を連ねる地元商業者によるイベント、「カミングパラダイス」が開催され、各地から大勢の客が訪れます。



鉚路白糠工業団地

産炭地域の振興策として昭和48年に造成され、現在52の企業が進出しています。国道38号に隣接し、鉚路空港、鉚路西港、白糠駅、鉚路駅が車で20分圏内に位置し、輸送面でも非常に恵まれた工業団地です。

恋問海岸

恋問館（道の駅）に面する太平洋沿岸に左右に広がるおよそ10kmの砂浜海岸。駐車場からそのまま海岸に下りていけるので、行楽シーズンは、家族連れや恋人同士、仲間同士でにぎわいます。この海岸に平行して走る国道38号沿いには、エゾスカシユリやはまなすなど野生の花が季節ごとに咲き、ドライバーの目を楽しませてくれます。冬は、きれいな夕日が、ちょうど水平線に沈む姿をじっくりと見ることができます。





しそ焼酎「鍛高譚(タンタカタン)」

今や日本全国に知られるしそ焼酎「鍛高譚」の原料となるしその葉は、白糠町の「鍛高(たんたか)」という地区で栽培されています。

「タンタカ」とはアイヌ語でカレイ科の魚のことで、タンタカが川をさかのぼり、紫の葉を持ち帰って病気で苦しむ仲間を救ったという昔話(譚)が名前の由来となっています。もともとは農家の人たちが自分たちで作ったしその絞り汁を焼酎に入れて飲んでいたアイデア商品です。

ししやものいんちやろ

ししやものは、世界でも北海道の太平洋にしか生息しない日本固有の貴重な魚です。白糠町では、産卵のため茶路川と庶路川にししやもが遡上します。2つの川にししやもが遡上するのは、道内市町村で唯一白糠町だけです。

白糠沖にやってくるししやもは、十勝沖から徐々に脂が抜け、オスの身は締り、メスの卵は成熟期を迎えるため、最もおいしいと言われています。

白糠町で捕れるお魚カレンダー

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
柳だこ	●								●	●	●	●
ししや							●	●	●			
毛がに												
ほっき貝	●	●	●						●	●	●	●
つづ貝	●	●	●	●	●				●	●	●	●
秋鮭							●	●				
たらほっけ									●	●	●	●
宗八五目		●	●									
メジカ				●	●							
イカ					●	●	●					
柳の舞							●	●	●			



パークゴルフ インチヤロ

平成14年に完成した国際公認コースです。設計者は、プロゴルファー丸山茂樹氏の父である丸山護氏で、あごの高いバンカー、深いラフがパークゴルフ愛好者を悩ませる、道内屈指の難コースとして知られています。

北・南コースそれぞれ18ホールあり、36ホールの全長は1711m。「鍛高譚杯」親善どころかパークゴルフ大会やしらぬかサマーグリーンパークゴルフ大会など4つの全道規模の大会が開催されています。

郷土芸能 「白糠駒踊り」

優良な馬産地であった白糠で、大正8年から伝承される踊りです。生き生きと跳ねる若駒の様子を表現し、町のカントリイ・サインにも駒踊りが描かれており、町内や釧路管内のイベント等で披露されています。



本別IC 白糠IC 平成26年 供用開始予定

北海道横断自動車道、本別釧路間は、平成16年1月に国が施工を行う新直轄方式に変更され、平成21年11月に本別ICから浦幌IC間が供用を開始しました。平成26年に白糠ICまで、平成27年に阿寒ICまで、平成28年には釧路まで整備が行われる予定です。

白糠町からのお知らせ

第17回 港in白糠大漁まつり

とき 6月23日(日) 午前9時30分～午後3時
ところ 白糠漁港特設会場

- 主な催しもの(予定)**
- ・海鮮炉端・露店・遊覧航海・遊漁体験(釣船体験)
 - ・歌謡ステージ・郷土芸能(白糠駒踊りほか)
 - ・小学校、中学校、高校の金管・吹奏楽部演奏
 - ・保育園児による和太鼓披露・ビンゴゲーム
 - ・ふわふわランド・大漁祈願餅まき

海鮮炉端をはじめ、白糠の海・山の特産品が大集合！大人気の遊覧航海や釣船体験、地元出身歌手共演の歌謡ステージなどイベントが盛りだくさんです！ぜひお来場ください。

問い合わせ 港in白糠大漁まつり実行委員会(白糠漁協内)
 ☎01547-2-2221



漁協直売コーナーの様子

港in白糠大漁まつりは、漁業や港をもっと知ってもらおうと浜の若者たちが始めたイベント。港では海鮮炉端や露店が並び町内外の方々に海産物を紹介、販売します。



着々と工事が進む白糠町縫別地区のIC付近

平成
25年度

狂犬病予防注射と

犬の登録日程表



6月23日(日)				6月21日(金)				月日
時間				時間				場所
午後1時55分〜午後2時30分	午後1時35分〜午後1時50分	午後1時10分〜午後1時30分	午前11時40分〜午前11時55分	午前11時25分〜午前11時35分	午前10時55分〜午前11時15分	午前10時25分〜午前10時40分	午前9時40分〜午前9時55分	美里別東下1会館
本別町役場前	清流公園	北8丁目	山手町	錦町	仙美里元町	栄町	新町	弥生町
北2丁目	清流町	北8丁目	山手町	錦町	仙美里元町	栄町	新町	弥生町

6月18日(火)				6月16日(日)				月日
時間				時間				場所
午後2時40分〜午後2時50分	午後2時15分〜午後2時30分	午後1時50分〜午後2時05分	午後1時30分〜午後1時40分	午後11時30分〜午前11時40分	午前11時15分〜午前11時30分	午前10時55分〜午前11時10分	午前9時35分〜午前10時00分	勇足コミセン前
丑若元吉様宅	勇足西1会館	負籠2会館	負籠1会館	チエトイ1会館	佐藤耕一様宅	仙美里2会館	星崎政博様宅	高橋高男様宅
勇足東3	勇足西1	負籠2	負籠1	チエトイ1	東本別	仙美里2	上仙美里	美栄

- ◎狂犬病予防注射は、毎年1回受けなければなりません
- ◎生後91日以上の犬は、登録・狂犬病予防注射を受けなければなりません
- ◎犬の登録は、平成7年4月から犬の生涯に1回の登録となりました
- ◎犬の死亡、所有者および所有者住所の変更などがあつた場合は、住民課環境生活担当に届け出をしてください
- ◎注射手数料は**3,040円**です
新規で登録する場合は、登録手数料が別途**3,000円**かかります
- ◎ご不明な点は、住民課環境生活担当(☎22-8128)または、農業共済組合(☎22-2075)にお問い合わせください
- ※指定場所は特にありませんので、都合のよい時間・場所で必ず受けてください
- ※犬の体調が悪い場合には、事前に申し出てください
- ※他市町村や動物病院などで予防注射を実施した場合は、予防注射実施済票を交付しますので、予防注射実施済証を持参の上、必ず住民課環境生活担当までお越しください(交付手数料**550円**がかかります)

本別町・本別町獣医師会・十勝農業共済組合北部事業所本別家畜診療所

6月20日(木)				6月19日(水)				月日
時間				時間				場所
午後2時05分〜午後2時20分	午後1時40分〜午後1時50分	午後1時20分〜午後1時30分	午前11時30分〜午前11時40分	午前11時15分〜午前11時25分	午前10時55分〜午前11時05分	午前10時35分〜午前10時45分	午前9時40分〜午前9時50分	美里別東上
美里別東上会館	活谷茂様宅	活谷神	上拓農会館	旧拓農公民館跡	美里別東中会館	農協美里別支所様	ラウンベ入口バス停	美里別西上
美里別東上	活谷茂	活谷神	上拓農	拓農	美里別東中	美里別西上	美里別西中	美里別西上

春の本高、お伝えします!



入学式が行われました!
今年の入学生は38人。ちょっと少ないですが、その分元気がいっぱいです。

対面式・新入生オリエンテーション。本別高校の活動や部活動の紹介などが行われました。



参観日の様子。生徒はもちろんだが、保護者の皆さんもドキドキ。2年生の体育では、日ごろ練習してきた集団行動を披露しました!

校訓 創意実践

各学校の手作りページ
HELLO
本別高等学校



北海道本別高等学校
TEL: 0156-22-2052 / 2068
E-mail: honbetsu-z0@hokkaido-c.ed.jp

十勝EDSカラマツ

利活用研究会設立会議



EDS技術について説明する石井氏

戦後十勝に植林されて以来50年以上の蓄積があるカラマツを、付加価値が高い地域資源として有効活用するため、十勝EDSカラマツ利活用研究会（委員長＝宮島慎吾武蔵野美術大学基礎デザイン学科主任教授）が5月9日、役場で立ち上げられました。

※EDS＝エコロジー・ダイバーシティ・シナジー

カラマツ材の可能性探る

会議には、群馬県にあるイー・ディ・エス研究所石井幸男代表取締役所長をはじめ、町内建設業者など約20人が出席。高橋正夫町長が「皆さんの協力を得ながら、本町の誇れる財産であるカラマツを、EDS技術を利用し有効活用したい」とあいさつしました。

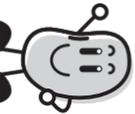
EDSとは、木材に一定の熱を加えることで、木材内部の組織を改良し有効材に変える技術のことで、石井氏は、カラマツ材の特徴である「曲がる」「反る」などの欠点を除去することが可能であり、防虫・防カビのほか、やにも内部で固められ、強度も加工前と比べ倍近くなることなどを説明。この技術を活用することで産業化・企業化が図られ、新たな雇用が生まれると述べました。

町では、今年度からEDS処理したカラマツ材を公共施設で利用することを計画しており、今後、研究会でも研究・研修を重ねカラマツ材のさらなる可能性を探っていきます。

翌10日には、帯広市の製材会社で、EDS処理されたカラマツ材の製材工程などの現地研修会が実施されました。



50年生の本別産カラマツにEDS処理を加え製作した、美しい木目の下駄箱とロッカー（前列左から）。後列はEDS処理された本別産カラマツ



旧ふるさと銀河線 鉄道跡地を散策路に 4 27

銀河ロード実行委員会（太島聡実行委員長）が4月27日、柏木町の鉄道跡地に植樹をしました。この植樹は、町内旧ふるさと銀河線鉄道跡地を散策路に整備することを目的としたもので、今年で5年目。参加した6人の会員は、スコップで掘った穴に土を入れた後、サクラ9本・モミジ1本を丁寧に植樹しました。



遊具がきれいになりました 4 27

本別建友会（三木哲会長）の会員35人が4月27日、町内公園遊具の塗装に汗を流しました。この取り組みは、地域貢献活動の一環としてボランティアで実施されたもので、色を塗り替えられた遊具は見違えるほどきれいになりました。



笑顔と真心でお出迎え 5 8

図書館ボランティアぶっくる（綾野治男会長、26人）による、ぶっくるカフェが5月8日、同館内にオープンしました。オープン前には、同カフェ前でセレモニーが行われ、綾野会長が「一人でも多くの方に図書館を利用していただけるよう、笑顔と真心で接していきます」とあいさつした後、いよいよカフェの営業がスタート。同ぶっくる会員らは、さっそく訪れた利用者に「ゆっくりしてってください」と語り



掛けながらコーヒーを提供し、利用者からは「おいしい」と笑顔がこぼれていました。

交通事故に遭わないために 5 9~10

仙美里小学校（寺島康博校長、31人）が全校児童を対象に5月9日、交通安全教室を実施しました。クロネコヤマト、本別警察署、交通安全指導員の協力のもと、児童らは大型車の死角やタイヤの内輪差に潜む事故の危険性を学んだほか、自転車の乗車訓練や横断歩道の歩行訓練などを行い、交通事故に遭わないための注意点を学びました。5月10日には本別中央小



帯広信用金庫本別支店の皆さん

清掃ボランティア 5 11

5月11日、帯広信用金庫本別支店（杉村敦善支店長）の職員6人が南4丁目の雪捨て場等で、町内郵便局と集配センター職員ら約20人が新町の雪捨て場で、雪に混ざって持ち込まれた多くのごみを拾う清掃ボランティアに汗を流しました。



町内郵便局、集配センターの皆さん

通学路をごみ拾い 5 12

弥生町自治会婦人部（石丸道子部長）約20人が5月12日、児童生徒らにきれいな通学路で気持ちよく通学してほしいとの願いから、学校支援事業として本別高等学校、本別中学校、本別中央小学校通学路のごみ拾いを実施しました。範囲が広い空き缶などさまざまなごみが集まり、45ℓ袋で30袋あまりの量を回収。ごみ拾いを終えた参加者の額からは、爽やかな汗が流れていました。



春の叙勲 喜びを語る 5 15

北8丁目の加藤鉄男さん（62）が端宝双光章を受章し5月15日、役場を訪れ高橋正夫町長に報告しました。この章は、町国保病院に38年間、臨床検査技師一筋で勤務するとともに、北海道町村立病院臨床検査技師会会長および十勝臨床検査技師会副会長を務め、地域医療の礎を築いた功績により贈られたもので、加藤さんは「家族や職場など、支えてくれた周りの人のお陰です」と謙虚に喜びを語りました。



地域の先生が 手ほどき

5/22

勇足中学校（上田禎子校長、24人）が5月22日、総合的な学習の一環として、地域の先生を活用した花壇整備に取り組みました。先生になったのは、勇足老人クラブ（高橋タミ子代表）会員10人。生徒らは、先生の手ほどきを受けながら、学校前の花壇にマリーゴールドやペコニアなど150株を丁寧に植えました。



きれいなツツジの 花が咲きますように

5/20

本別町商工会女性部（小川睦子部長）による植樹が5月20日、本別公園義経の館下の駐車場脇で実施され、会員8人によりツツジ44本が丁寧に植えられました。この取り組みは毎年行われているもので、きれいな花が本別公園を訪れる人の目を楽しませています。



お互いの健闘を誓う

5/17

世界中で一斉に開催されるスポーツイベント「チャレンジデー2013」の対戦相手、山梨県南部町とのエール交換が5月17日、役場で実施されました。佐野和広南部町長と高橋正夫本別町長、大西光夫本別町チャレンジデー実行委員長が、インターネット中継「スカイプ」で、互いにまちの紹介や当イベントの取り組みなどについて説明した後、「参加率アップを目指して頑張りましょう」とお互いの健闘を誓い合いました。



子供たちへ きれいな通学路を

5/17

J A本別町女性部（井出克子部長）が5月17日、本別大橋から本別高校までの通学路にある花壇整備を行いました。子供たちにきれいな通学路で学校に通ってほしいとの思いから毎年手入れしているもので、作業にあたった部員15人は、ヘメロカリスの株を掘り起こした後、切り分けと移植作業に汗を流しました。



都会ではできない 生活を満喫

5/22

北海道十勝の生活を体験しようと、京都府長岡京市立長岡第四中学校の3年生60人が5月22日、修学旅行で本別町を訪れました。同校からは昨年も3年生83人が修学旅行で本別を訪れており、好評だったことから今年度も来町が決定。生徒らは、道の駅「ステラ★ほんべつ」で行われた受入式のあと、宿泊先となる町内15の受け入れ家庭に分散し、牛の世話体験や地元食材を味わうなど、都会ではできない生活を満喫しました。



本別産小麦100%の パンが、学校給食に

5/21

教育委員4人と高橋正夫町長らによる給食試食会が5月21日、本別中央小学校で実施されました。メニューはバターロール、ミートオムレット、サラダ、スープ、牛乳の5品。バターロールには、町内の前田農産食品専務の前田茂雄さんが寄贈した本別産小麦が100%使用され、児童らはいつものパンよりも「ふわふわしている」「もちもちしている」などとおいしそうに頬張り、笑顔を見せていました。この日は、午前中に移動教育委員会と教育委員による全学年の授業参観も行われました。



生ごみ堆肥無料配布

5/18

本別町保健衛生組合（目黒金次郎会長）による生ごみ堆肥無料配布が5月18日、河川運動公園多目的広場で実施されました。用意された堆肥は、約1.3トン。早朝から約60人が集まり、持参した袋にスコップを使い詰め込み、持ち帰りました。



大きく育て

5/17

ニトリ北海道応援基金本別町町民植樹祭が5月17日、新生の町有林で実施されました。植樹祭には、11団体と一般参加者合わせて61人が参加。参加者は、サクラ70本、モミジ45本を、大きく育てと願い込めながら丁寧に植えました。



みんなの健康

346

あまり聞き慣れない名前かもしれませんが、近年高齢化に伴い成人病を有する患者さんも増えてきて、飲んでい

ビスフォスフォネート

どもそうですが、ビスフォスフォネート製剤（B P製剤）もその一つです。これは骨粗しょう症に対する経口薬や乳がん、前立腺がんの骨転移の時の注射薬として我が国では用いられて

10倍に増加します。いったん骨壊死が起ると治りにくく、治療法が確立されていないのが現状です。厚生労働省では、『B P製剤の治療を受けていた症状が出たら放置せず医師、歯科医師、薬剤師に早めに相談してください』との注意喚起文書を出しています。

一般的にB P治療は長期間に及ぶため、その予防法としては、治療前に歯科医師に情報をしっかり伝えること。良好な口腔衛生環境を維持するため2-3か月ごとの定期検診を徹底し、X線検査による骨評価、骨露出の有無のチェックをすること。また発症後の症状緩和のため口腔ケアがとて重要となります。骨粗しょう症のお薬はかなりの人が飲んでいるので、お薬手帳などでチェックをして、気になる人は一度歯科医院で相談してみてください。

榎原歯科医院
院長 榎原秀樹

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたぐくさんの愛で生まれ育つ子どもたちを応援します。



清流町
大和田 結仁 (阿耶ママ)



活込
齊藤 歩睦 (美香ママ)



東仙美里
唯野 竜獅 (亜希ママ)



北5丁目
安達 心咲 (智ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

銀河サロンの花見交流会 5/23

銀河サロン（三井誠子運営委員長）の花見交流会が5月23日、本別公園で開催されました。花見交流会は、5月の恒例行事として、いつもサロンを利用している人から、とても人気のあるイベントのひとつです。この日は、町内のほか足寄町や陸別町から60人以上が集まり、春の穏やかな日差しの下で、きれいに咲いたサクラやツツジの花に囲まれながら、年に一度の花見を楽しみました。銀河サロンでは、子どもから高齢者・障がい者など、幅広い人が集まり、毎月健康ダンス・カラオケ・集いを行っています。



銀河ホップアップ

一足寄町・陸別町から

足寄町

第16回ラワンびぎ祭り

北海道遺産で足寄町特産品のラワンびぎを自分の手で刈り取りしてみませんか。

□とき 6月23日(日)
午前8時30分～正午

□ところ 鳥羽農場(鷲府)
※道の駅あしよる銀河ホール21前に案内所を設置しています

□持物 鎌または包丁等
□詳細 JAあしよる農産課
☎2515178

第8回道の駅まつり

道の駅あしよる銀河ホール21を会場に、特産品の販売やイベント、フリーマーケットなどを行います。

□とき 6月23日(日)
午前9時～

□ところ あしよる銀河ホール21
□詳細 あしよる観光協会
☎2516131

陸別町

銀河の森天文台 プラネタリウム上映情報

銀河の森天文台では、毎週土曜日・日曜日限定でプラネタリウムを上映しています。望遠鏡による星空観察と併せてぜひご覧ください。皆さまのご来場をお待ちしております。

□上映時間 午後3時・午後5時
午後8時の3回

※各回約30分の上映になります
□定員 1回あたり20人(先着順)

□開館時間 午後2時～午後10時30分
※月・火曜日は休館です

□入館料 《昼間》大人300円
小人(小・中学生)200円
《夜間》大人500円
小人(小・中学生)300円
※小学生未満 無料
※発行日より1年間有効な、お得なパスポート(大人1000円・小人600円)もあります

□問い合わせ 陸別町銀河の森天文台
☎2718100

ご寄付ありがとうございます

平成25年4月5日から5月14日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★町内保育所指定
交通安全帽子 58個
……………本別ライオンズクラブ 会長 藤田尚幸
- ★本別町南保育所指定
鉄棒・マットセット 2組、JPクッション 3個
……………栄町 渡邊友樹
- ★本別町老人ホーム指定
タオル 70本
……………向陽町 鈴木高士

- タオル 250本・雑布 70枚 ……美蘭別 若木久仁子
- タオル 120本 ……………北4丁目 夏川ケイ子
- バスタオル 100枚 ……………匿名
- ★本別町国民健康保険病院指定
タオル 50本 ……………栄町 小川光子
- タオル 120本 ……………北4丁目 夏川ケイ子
- ★勇足地区公民館備品購入指定
金 30,000円 ……………匿名
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
金 100,000円 ……………匿名
(内訳)
★福祉でまちづくり推進事業 ……金50,000円
★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 ……金50,000円

本のある暮らし 147

こどもの読書週間 フトリポート

戸籍のまど

お誕生

4月後半から
5月前半の
届出分

柏崎陽斗はらとくん 秀行ひでゆきさん 4/14 柏木町
二代にしろさん

※お詫び
広報ほんべつ5月号で、氏名に誤りがありました。次の通り訂正し、深くお詫びいたします。
誤：井出 颯はつくん
正：井上 颯はつくん

ご結婚

(佐藤英樹さとう ひできさん 錦町
立石智子たちいし ともこさん 音更町)

おくやみ

鎌田喜代光かみた きよひろさん 81歳 4/26 向陽町
青木キミあおき きみさん 98歳 4/26 緑町
篠原幸三しのはら ゆきぞうさん 63歳 4/27 新町
刃若敏子やぶがき みのこさん 81歳 4/30 勇足東3
長井二三ながい にせさん 90歳 5/1 美里別東中
野村世治のむらよ せじさん 72歳 5/5 南2丁目

4月23日から5月12日の「こどもの読書週間」にともない、図書館では子どもと本と夢をつなぐ催しを行いました。そのようすを写真で紹介します。

4月22日 月 ぶっくる手づくりしおりプレゼント



勇足小学校

各小学校の
新1年生のみなさんへ。
「本とながよくな
ってね！」

4月23日 火 幼児読み聞かせ「どうわかん」



1階読み聞かせコーナー

みんなて
楽しむひととき。
「ママ、お友だち、絵本…
みんな大好き！」

期間中館内展示



ぶっくる作品展「はなもめ」



「Ebina☆Keiko」
ミニギャラリー



壁面ポスター

わたしたちのまち

前月比
人口 **8,011人(+123)**
男 **3,936人(+99)**
女 **4,075人(+24)**
世帯数 **3,830戸(+106)**
〔4月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称：ぶっくる一丸)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112